

第2回 地域の仕合わせを紡ぐ輪

ひきこもり心の距離を縮める関わりとは

- ひきこもり支援の原則 山根モデル -

地域で精神科の医療機関が増えてきていますが、医療・福祉・行政での体制・資源・仕組みが整っていない状況のため、地域の資源を線にする働きかけが必要です。この活動を通して山梨県の地域医療発展を願っています。「仕合わせ」とは、何かがつながることで生まれる「結果」や「意味」を大事する。「紡ぐ」は繋ぎ合わせる。人と人とが繋がることで生まれる意味や結果を繋ぎ合わせる輪を意味しています。

日時： **3月21日** (土)

受付：12:45 ~

開催：13:00 ~ 16:00

定員：25名 参加費：無料

会場：甲府市西油川公民館 (甲府市西油川町50-2)



講師 山根 俊恵 さん

山口大学名誉教授、NPO法人ふらっとコミュニティ代表理事
株式会社ふらっとCOMM.代表取締役。2005年に法人を設立し、精神障害者等の居場所支援を開始。2015年より、本格的にひきこもり支援を開始。現在「伴走型ひきこもり支援 山根モデル」を実践。

ひきこもりとは、「さまざまな要因によって、社会や人と一時的に距離を取った結果、徐々に社会とのつながりがなくなり、家族以外の人、または家族とのコミュニケーションの機会が減ってしまった状態である。さらに、この状態が長期化することによって自尊心が低下し、社会参加が難しくなった状態である。」と講師は定義しています。ひきこもりが長期化することによって多くの方が「うつ状態」「昼夜逆転」「自己否定」「自尊心の低下」「自己効力感低下」「意欲低下」「感情コントロール低下」「対人恐怖」「家庭内暴力」「強迫症状」「寡黙」などの症状を体験する特徴があります。



申込方法 E-mail : shinryoku@houmon-shinryoku.com

①所属 ②氏名 ③電話 ④メールアドレスを記載して
メールにてお申し込みください。QRコードからもお申し込み頂けます。



主催：訪問看護ステーション信緑

事務局 080-2336-5588 (担当ワタナベ)

